

変形性膝関節症に対する下肢アライメントの矯正が足部・足関節のアライメントに及ぼす影響の検討

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	変形性膝関節症に対する下肢アライメントの矯正が足部・足関節のアライメントに及ぼす影響の検討
倫理審査受付番号	第3654号
研究期間	2020年11月倫理審査承認日～2022年 3月31日
研究対象情報の取得期間	下記の期間に整形外科を受診され、変形性膝関節症に対して人工膝関節置換術または膝周囲骨切り術を受けた方 2019年 4月 1日～2020年 9月30日
研究に用いる試料・情報	カルテ情報
研究概要	(研究目的、意義) <目的>

下肢アライメント不良を伴う変形性膝関節症に対する人工膝関節置換術や膝周囲骨切り術において、下肢アライメントの矯正に伴い、足部・足関節アライメントが変化することが報告されています。足部・足関節アライメントの変化は足部・足関節の変形性関節症進行の原因となることがあります。しかし、人工膝関節置換術や膝周囲骨切り術における足部・足関節アライメントの変化を調査した報告は少なく不明な点が多いのが現状です。

本研究の目的は、変形性膝関節症に対する人工膝関節置換術や膝周囲骨切り術の術後成績向上のために、臨床対象となる画像データ、診療で得られた臨床情報を後向きに検討することです。

<意義>

足部・足関節アライメントの変化は、足部・足関節における変形性関節症の進行の原因となります。変形性膝関節症に対する人工関節置換術や膝周囲骨切り術では下肢アライメントが矯正されますが、下肢アライメントの変化に伴って足部・足関節アライメントが変化することが報告されています。

本研究において、画像データおよび臨床データを解析し、下肢アライメントの矯正が足部・足関節アライメントに及ぼす影響を検討することで、変形性膝関節症に対する人工膝関節置換術後や膝周囲骨切り術後における足部・足関節の変形性関節症のリスクを減少させることができれば、さらなる術後成績向上につながります。

(研究の方法)

整形外科の診療において得られた診療録、単純X線像などの画像データより臨床所見、術前後の下肢アライメントの変化や足部・足関節のアライメントの変化などのデータを収集し、解析します。解析したデータをもとに下肢アライメントの矯正が足部・足関節アライメントに及ぼす影響、また足部・足関節アライメントの変化が臨床所見に及ぼす影響を検討します。

(個人情報の取り扱い)

匿名化を行い、個人情報を保護します。本研究の同意に基づいて取得された個人情報に関しては、厳重に管理します。収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した(匿名化といいます)上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

本研究に関する 連絡先

兵庫医科大学病院 整形外科
橘 俊哉 (研究責任者)
森本 将太 (研究担当者)

TEL | (平日8:30~16:45) 0798-45-6452